

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会



令和4年
10/6(木)~10/10(祝月) (5日間)

参加道府県/**41道府県** **過去最多!!**

出品予定頭数/計**459頭**
(種牛:265頭、肉牛:169頭、特別区:25頭)

主催/公益社団法人 全国和牛登録協会
運営団体/第12回全国和牛能力共進会
鹿児島県実行委員会

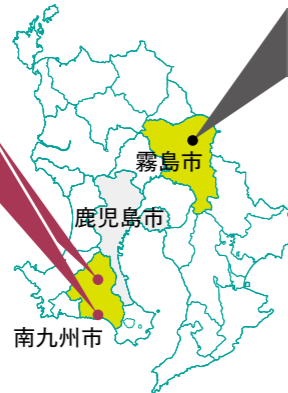
全国の和牛が鹿児島に集う

県内80の関係機関・団体からなる県実行委員会では、大会の開催に向けて、審査場や牛舎等の会場設営、開閉会式や各種イベント、全国から集まる出品牛や来場者の交通輸送対策などの準備を進めています。

にくぎゅう「肉牛の部」会場

肥育牛の肉質等を審査

- 南九州市知覧町
- 審査展示会場:
株式会社JA食肉かごしま南薩工場
- セリ会場:知覧体育館
- セリ参観特設会場:知覧文化会館



しゅぎゅう「種牛の部」会場

牛の姿・形を審査

- 霧島市牧園町
- 共進会・催事会場:
霧島高原国民休養地周辺



「種牛の部」共進会会場(現在)

大会マスコットキャラクター「かごうしママ」



マスコットキャラクターのデザインおよび名称は公募により決定!
「鹿児島」「和牛」「お母さん」のイメージを盛り込み、鹿児島の人々のあたたかさ、鹿児島の食の魅力を感じてもらえるようなデザイン・名称となりました。



塩田知事と考案者の方々

~全国和牛能力共進会のあゆみ~

それぞれの時代における和牛生産・改良上の目標をテーマに掲げ、開催されています。

大会	開催地	開催年	参加道府県/出品頭数	開催テーマ
第1回	岡山県	昭和41年	6県/99頭	和牛は肉用牛たりうるか
第2回	鹿児島県	昭和45年	24道府県/211頭	日本独特の肉用種を完成させよう
第3回	宮崎県	昭和52年	33道府県/279頭	和牛を農家経営に定着させよう
第4回	福島県	昭和57年	33道府県/314頭	和牛改良組合を発展させよう
第5回	島根県	昭和62年	35道府県/324頭	着実に伸ばそう和牛の子とり規模
第6回	大分県	平成4年	35道府県/391頭	めざそう国際競争に打ち勝つ和牛生産
第7回	岩手県	平成9年	37道府県/432頭	育種価とファイトで伸ばす和牛生産
第8回	岐阜県	平成14年	38道府県/469頭	若い力と育種価で早めよう和牛改良、伸ばそう生産
第9回	鳥取県	平成19年	38道府県/492頭	和牛再発見! -地域で築こう和牛の未来-
第10回	長崎県	平成24年	38道府県/480頭	和牛維新! 地域で伸ばそう生産力 築こう豊かな食文化
第11回	宮城県	平成29年	39道府県/513頭	高めよう生産力 伝えよう和牛力 明日へつなぐ和牛生産
第12回	鹿児島県	令和4年	41道府県/459頭*	和牛新時代 地域かがやく和牛力

農耕や運搬のための「役牛」から「肉牛」への転換



第2回鹿児島大会の様子

生産コストを抑えながら経済的価値の高い牛づくりを目指しました

全国初の2回目開催「高校及び農業大学の部」の新設

*第12回大会は予定頭数



第11回全共宮城大会審査会場

和牛 日本一を鹿児島で競う

Wagyu



第1区若雄で優等賞1席を獲得(鹿児島県出品)

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会開催まで1年をきる!!

前回大会は鹿児島が総合優勝

「全国和牛能力共進会(全共)」は全国の優秀な和牛を一堂に集め、改良成果を競う5年に一度の大会です。この大会で優秀な成績を収めることは、各道府県の銘柄牛のブランド力向上につながるから、全国の和牛関係者にとって重要な大会です。

5年前の2017年に宮城県で開催された第11回大会において、本県は9部門のうち4部門で1位を受賞。さらに、出品した全ての牛が6位以内に入賞し、栄えある総合優勝(団体賞)を果たしました。次の第12回大会はいよいよ今年10月に開催され、舞台は鹿児島です。鹿児島での開催は、1970年の第2回大会以来52年ぶりで、2回目の開催は、全国初となります。



第9区去勢肥育牛で優等賞1席を獲得した牛肉(鹿児島県出品)